

ウェインズトヨタ神奈川株式会社
ウェインズアセット株式会社

サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク



2025 年 9 月

1. はじめに

ウエインズグループは、1956 年の横浜トヨペット創業以来、「お客様第一主義」を理念に掲げ、トヨタ車販売事業を主軸に、安全・安心のカーライフを顧客に届けるとともに、豊かな地域社会づくりに貢献する活動を続けてきた。そして、時代とともに変化する顧客のニーズに応えるべく輸入車販売、レンタカー、自動車買取、携帯・通信事業、警備など事業の領域を広げ、多様なサービスを提供している。神奈川県を中心に静岡県東部地域や、カナダのグレートトロントエリアで自動車販売事業を展開しており、現在ではグループ 13 社、グループ売上高 5,000 億円超を擁する企業グループに成長している。

ウエインズトヨタ神奈川株式会社（以下、「当社」）は、2023 年 1 月、お客様の利便性向上やサポート体制の強化を目的に、横浜トヨペット、トヨタカローラ神奈川、ネットトヨタ神奈川の 3 社を統合し、「ウエインズトヨタ神奈川」として新たなスタートを切りました。

グループ会社の 1 社であるウエインズアセット株式会社は、ウエインズトヨタ神奈川株式会社の資産管理会社としてスタートしています。現在では、ウエインズアセット株式会社は、資本関係ではウエインズグループ各社の親会社となっています。ウエインズアセット株式会社は、ウエインズトヨタ神奈川の事業戦略に則し、運営を円滑に進めるためのサービスやソリューションを提供しています。ウエインズアセット株式会社は、ウエインズトヨタ神奈川株式会社の店舗等を保有する資産保有会社であり、同じグループビジョンや環境方針のもと経営する法人です。

ウエインズグループは、環境保全はもちろん、スポーツを通じた地域活性化や安全・安心のモビリティ社会の実現に向けた活動に取り組んでいます。2020 年 4 月、神奈川県内の自動車販売会社の中で初めて「かながわ SDGs パートナー」の一員となり、地域との連携を強化してまいりました。そして持続可能な地域社会の実現に貢献するため、2022 年 4 月に「まちいちばん支援部」を立ち上げ、SDGs の取り組みを推進しております。また健康経営宣言をはじめ、法令順守に基づく健全な企業活動を通じて企業価値向上に努め、地域の皆様から信頼される企業となることを目指しております。

その一環として、今回サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク（以下、「本フレームワーク」）を策定しました。これはウエインズグループにおけるサステナビリティ経営の取り組みを強化し、脱炭素社会の実現を貢献するとともに、幅広いステークホルダーにウエインズグループの長期ビジョン実現に向けた取り組みを示し、推進していくことを狙いとしています。

1.1 企業概要

会社名	ウエインズトヨタ神奈川株式会社
代表者名	代表取締役社長 宮原 漢二
本社所在地	神奈川県横浜市中区山下町33
創業	1956年3月（※1）
資本金	1,000万円
社員数	4,397名（※2）
売上高	3,161億4千万円（※3）
事業目的	1. 新車（トヨタ・レクサス）、U-Car（中古車）の販売

	2. 自動車の整備、点検、修理 3. 自動車関連部品・用品・オイルなどの販売 4. 損害保険代理業、生命保険の募集に関する業務 5. 自動車のリース業 6. 自動車の買取り事業 7. 携帯電話（au）の販売
主な事業所	横浜市 49店舗、川崎市 14店舗、鎌倉・湘南エリア 28店舗 横須賀・逗子・葉山・三浦 7店舗、相模原・大和エリア 25店舗 海老名・厚木エリア 10店舗、小田原エリア 8店舗（全141店舗）
沿革	1956年 横浜トヨペット設立（創業者：宮原漢二） 1961年 パブリカ川崎設立（旧 トヨタカローラ神奈川、現 ウェインズトヨタ神奈川） 1967年 （横浜トヨペット）全国初、女性セールス「マイカーレディ」採用 1968年 トヨタオート相模設立（旧 ネットヨタ神奈川、現 ウェインズトヨタ神奈川） 1973年 （横浜トヨペット）自動車販売会社初の海外進出。カナダにドンバレー・ノース・トヨタ設立（現 WEINS AUTO GROUP） 1991年 “グループ行動元年”。グループ名称とロゴを一新。トヨタウェインズグループに改称。 2020年 Weins Styleの導入 2023年 横浜トヨペット、トヨタカローラ神奈川、ネットヨタ神奈川の3社を統合し、ウェインズトヨタ神奈川がスタート

※1：横浜トヨペットを設立した年月（2023年1月に横浜トヨペット、トヨタカローラ神奈川、ネットヨタ神奈川を経営統合）

※2：2025年4月1日現在（正社員、嘱託、契約、パート、派遣、出向受入を含む）

※3：2024年度決算資料



■ 新車（トヨタ・レクサス）の販売	■ 損害保険代理業及び生命保険の募集に関する業務
■ U-Car（中古車）の販売	■ 自動車のリース事業
■ 自動車の整備・点検・修理	■ 自動車の買取り事業
■ 自動車関連部品、用品、オイルなどの販売	■ 携帯電話（au）の販売

1.2 グループビジョン

【ウエイズグループビジョン】



ロゴマークに込めた想い



大地をあらわすラインの上に、東西南北をあらわすW・E・N・S。愛する地域、そしてそこに暮らすあらゆるお客様の未来を想う、ウェインズの姿勢を表現しました。

ロゴマークの中心にあるiは、「新しいうれしい！をつくる人」を象徴しています。一人ひとりがお客様に寄り添い、知恵を絞り、今までになかった新しいサービスや取り組みを生み出していくことで、愛する地域を日本でいちばんワクワクするまちにしていく。

そんなウェインズの揺るぎなき意志をロゴマークに込めています。

1.3 CSR 方針宣言

【CSR 基本理念】

私たちは、法令順守に基づく健全な事業活動を通じ、
「安心、安全でクリーンなカーライフの提供」、
「地域社会との調和、相互に持続可能な発展」、
「お客様、取引企業、従業員とその家族の夢」を実現し、
信頼される企業となることを目指します。

【CSR 基本方針】

I. お客様に信頼され選ばれる企業となること

- ・お客様第一主義に徹し、真に満足いただける、優れた商品とサービスを提供します。
- ・消費者保護法、個人情報保護法など関連法令を遵守し、信頼される営業活動を徹底します。

II. 地域社会、環境に対して貢献すること

- ・福祉、環境活動に通じて、地域社会との調和を図ります。
- ・道路関連法令を遵守し、地域社会の交通安全を積極的に推進します。
- ・暴力団対策法、暴力団排除条例に則り、反社会的勢力との取引を行わないことに取り組みます。

III. 取引企業と良好なパートナーシップを確立すること

- ・相互信頼に基づく、良好なパートナーシップを確立します。

- ・独占禁止法、下請法など関連法令を遵守し、公正な取引を徹底します。

IV. 従業員が誇りをもって働ける企業となること

- ・従業員が働き甲斐を持ち、自己実現できるよう、個々の考え方、立場を尊重します。
- ・労働関連法令を遵守し、安全かつ健康的な職場環境づくりに努めます。

1.4 環境方針

【基本理念】

当社は「お客様第一主義」の創業精神を基に、
「人にそして地球にやさしい」
企業をめざして、法規制を順守し、
汚染の予防及びより良き企業市民として、
地域社会の環境保全活動への積極参加・貢献を致します。
環境負荷の少ない快適な車社会を構築し、
次世代に住みよい地球と豊かな社会を
残せるように、継続的な環境の保護・改善に
努めることを宣言します。

【基本方針】

- I. 企業の事業活動が環境に与える影響を認識し、環境目的・環境目標を定めて、全従業員・構成員で継続的な環境改善に取り組む
- II. 環境問題の理解に努め、事業活動の全領域において汚染の予防に努め、省エネルギー・リサイクルの推進と廃棄物の削減および責任ある処理を行い、循環型社会システムの実現に寄与する
- III. 環境監査により活動を確認して改善施策を実行し、自主管理の維持向上に努める
- IV. 国・地方自治体などの環境規制を順守することはもとより、自主管理基準を設定し、環境管理のレベルアップを計る
- V. 全員への環境教育を徹底し、環境への意識向上を計るとともに、自らが責任を持って環境保護活動を遂行する
- VI. 緑を守る運動に協力、地域社会の環境保護活動に参画しコミュニケーションを深め、環境保護のための提案・改善・実行および情報提供に努め、社会に貢献する
- VII. 事業活動に関係する環境情報をお客さまに提供し、使用の方法・処理の仕方等で環境改善に寄与出来ることを積極的に伝える

【環境負荷低減を目的とした取り組みの主な内容】

- 省エネルギー・省資源の推進
- 温室効果ガス排出の削減
- 近隣への環境配慮
- 廃棄物の適正管理
- 廃棄物の減量とリサイクルの推進
- フロンガスの適正な処理
- 低公害車の普及
- 使用済自動車の適正な処理
- 工場排水の管理

2. サステナビリティ・リンク・ローン・フレームワーク

本フレームワークは、ローン市場協会（LMA）の定める「サステナビリティ・リンク・ローン原則2025」および環境省「グリーンローン及びサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン2024年版」に基づいて策定され、以下の5つの要素から構成されます。

1. KPIの選定
2. SPTの測定
3. ローンの特性
4. レポーティング
5. 検証

なお、本フレームワークは、ウエイズグループのうちウエイズトヨタ神奈川とウエイズアセットの2社がローンによる資金調達を実施する場合にのみ使用されます。本フレームワークは、独立した外部評価機関である株式会社日本格付研究所より、上記原則およびガイドライン等との適合性に関する第三者意見を取得しております。

2.1 KPI の選定

本フレームワークに基づき発行するサステナビリティ・リンク・ローンは、以下の評価指標（以下、「本KPI」）を使用します。

KPI： 新車販売台数に占める電動車（PHEV、BEV、FCEV）の販売台数比率

本KPIの対象は「ウエイズトヨタ神奈川」です。当社は、2025年3月期以降の自動車販売台数に占める電動車の販売台数比率の数値目標を定め、その達成を通じてCO2排出量削減、ひいては地球温暖化の抑制に貢献することを目指します。

同KPIに基づく事業規模はウエイズグループ全体の事業規模に対して6割程度（2024年3月期）

（参考）ウエイズトヨタ神奈川売上高：3,161億円

ウエイズグループ全体売上高：5,422億円

なお、本KPIの「電動車」とは、PHEV（プラグインハイブリッド自動車）、BEV（バッテリー式電気自動車）、FCEV（燃料電池自動車）の3種類を対象とします。

2.2 SPT の測定

本フレームワークに基づくサステナビリティ・リンク・ローンは以下のサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、総称して「SPT」）を設定します。

年度	販売比率	年度	販売比率
2023年度（実績）	1%	2027年度	10%
2024年度（実績）	1%	2028年度	13%
2025年度	3%	2029年度	18%
2026年度	5%	2030年度	25%

2.3 ローンの特徴

サステナビリティ・リンク・ローンの特性は、SPT 達成時に、金利優遇が受けられる点にあります。SPT の実績確認資料を毎年 7 月末日までに貸付銀行へ提出し、毎年 8 月末日までに SPT を判定します。SPT を達成した場合、SPT 判定日の直後に到来する利払日に開始する利息計算期間から 1 年間（もしくは最終返済期日まで）、ローン契約書において定める金利が適用となります。引き下げ幅、引き下げ適用条件等については貸付人と協議のうえ決定し、個別債権の契約時に設定するものとします。

なお、何らかの事態が生じ、SPT の実績確認資料提出期限までに資料提出ができない場合には、SPT 未達成として対応します。ただし、M&A や外的要因など重大な環境変化によって維持することが難しくなった場合は、貸付銀行と借入人、外部評価機関の三社間で SPT の再設定を協議する予定です。

2.4 レポートニング

当社は、本フレームワークに基づくサステナビリティ・リンク・ローンが弁済されるまでの期間、SPT の達成状況について、貸付人に対して以下の内容を年次で報告します。報告日については、貸付人と協議のうえ決定するものとします。

当社は、当社もしくはウエイズグループのホームページへ掲載し、掲載した旨を貸付人に対して伝えた場合には、報告が履行されたものとします。

【レポートニング項目】

項目	レポートニング内容	レポートニング時期
KPI 実績	各年度の KPI の実績値	サステナビリティ・リンク・ローン実行の翌年度を初回とし、最終判定日まで年次
第三者検証	KPI の数値に対する SPT の達成状況に関する独立した第三者による検証報告書	
重要な情報更新等	KPI・SPT に関連する、借入人の最新のサステナビリティ戦略に関する情報または SPT 達成に影響を与える可能性のある情報（もしあれば）	

2.5 検証

借入人は、本フレームワークに基づくサステナビリティ・リンク・ローンが弁済されるまで、KPI の数値に対する SPT の達成状況について、「借り手」「貸し手」から独立した第三者機関による検証報告書の取得を行い、貸付人に対して毎年開示を行います。

以上